■砂鉄川改修の概要

北上川の左支川である砂鉄川は、平成１０年８月並びに平成１４年７月の洪水により、一関市川崎町から一関市東山町において床上浸水等が発生し大きな被害を受けたため、国土交通省、岩手県、川崎村及び東山町（現一関市川崎町及び一関市東山町）が連携し、国管理区間及び県管理区間にかけて大規模な堤防整備や河道掘削などが進められました。



■砂鉄川（国管理区間）の洪水予報河川の指定

砂鉄川の上流部は、河床勾配が急であることから、洪水の到達時間、継続時間ともに短く、さらに北上川の合流付近（国管理区間）では、砂鉄川流域に雨が降らない場合でも、北上川の水位が上昇することにより砂鉄川に逆流し、はん濫を引き起こす可能性があります。また、本川である北上川の影響が大きいことから、はん濫が発生した場合には広範囲に被害が生じるおそれがあるため、今後は減災のためのソフト対策が重要となります。

このような状況を踏まえ、**平成１９年度の本格的な出水期前に砂鉄川（国管理区間）を洪水予報指定河川に追加しました。**

＜砂鉄川洪水予報区間＞

想定はん濫区域内の戸数　約　　３４０戸

想定はん濫区域内の人口　約１，５００人

～引き続き、住民への確実な情報伝達のため関係機関の協力をお願いします。～